

「チーム宮前」の チャレンジ！？

町会の無い地域、繋がりも希薄になっている。
情報も入ってこない。このままで良いのか？
私たちが安心して暮らして良く為にできることは？

杉並区地域包括支援センター
地域包括ケア推進員
ケア24高井戸 尾関久子
ケア24南荻窪 小林広之

杉並区地域包括ケア支援センター (ケア24)

- 杉並区の状況(H29.10.1現在)

総人口:563,974人 高齢化率:21% 20か所の包括
若い世代も増えているが、単身・高齢世帯も増えている。

- 見守りの協力員(地域のボランティア)

見守りネットワーク(マッチングから緩やかな見守りへ)

- 地域包括ケア推進員(平成27年度~)20人の仲間

生活支援コーディネーターの役割も! ?

地域の状況

- 町会の無い地域、住民の意識も町会が無いからここへ引越してきたと言われる方々。
- 地域活動へ誘っても、自分達には必要ないと言われる。
- 繋がりが無いのは心配だけれども、見守る側と見守られる側という意識も強かった。
- 「このままで良いのか？」

繋がっていない！？

様々な活動が
地域では行な
われている
が！？

ケア24高井戸での取組

- 見守り協力員の地域連絡会（毎月開催）・・・各包括で開催
- 担当区域の中でも地域毎に別れてグループで話をするようにして来た（自分の地域を意識する）
- 協力員の高齢化に伴い、見守る側と見守られる側ではなく、「お互い様」という意識へ変化して来た。
- 町会の無い“宮前”で何か出来ないか？と集まりながら模索し始める。（このままでは、自分達も不安！？）
- そんな時、他の包括の活動を知って。。。。

ケア24南荻窪での取組

- 地域懇談会の開催 → A地域の課題把握
- A地域のキーマンとなる住民との出会い
- 想いを形にするお手伝い
- 社会資源の把握に努める！ 会場として福祉施設を提供
- 圏域を飛び越えたケア24同士との連携・協力
住民同士の協力

“地域”とは？

- 包括の担当区域は決められているけれど、住民の生活する地域とは？
- 住民は、地域での暮らしに何を求めているのか？
- 同じ“宮前”でも事情は違うかも？
- 先ずは、住民の想いを知る事、状況を共有する事。（チーム宮前の発足）
- 担当区域を越え、ケア24が繋がること。

住民が暮らす
“地域”へ。。。

宮前を担当する包括：ケア24高井戸、南荻窪、西荻窪、久我山

地域の皆さんと共に

- 同じ“宮前”の住民がしたいと思っている事。同じ“宮前”の住民が協力
- お互いに刺激を受けながら、自分達の身近なところでも何か出来ないだろうか？
- 少しずつ動き始める小さな活動
- 自分達の地域でも、「認知症サポーター養成講座」を開催し、今後の活動拠点を模索し始める。

行きつ戻りつしながら。。。○ ○ ○

自分達が必要と感じなければ、始まらない！

地域に広がる“小さな輪”

- 一人一人の生きかた、考え方は違う。
- お互いを知り合い、お互いの生き方を尊重しながら、地域の中での緩やかなつながり。
- 東京ならではの、新しいコミュニティーの在り方。
- 地縁、知縁、様々な繋がり。

地域住民、行政、
専門職、NPO等
それぞれの役割を
知りながら。。。

繋がる！！
繋げる！！
繋ぐ！！